



# 令和7年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和7年2月14日

上場会社名 アプライド株式会社  
コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山口 圭介

TEL 092-481-7801

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和7年3月期第3四半期の連結業績(令和6年4月1日～令和6年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期第3四半期	33,339	9.1	1,651	21.6	1,666	21.5	1,119	20.8
6年3月期第3四半期	30,546	14.5	1,357	34.2	1,371	34.1	927	37.7

(注) 包括利益 7年3月期第3四半期 1,127百万円 (20.5%) 6年3月期第3四半期 935百万円 (37.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年3月期第3四半期	414.29	
6年3月期第3四半期	343.02	

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期第3四半期	18,991		11,300			58.9
6年3月期	18,070		10,416			57.1

(参考) 自己資本 7年3月期第3四半期 11,193百万円 6年3月期 10,317百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年3月期		20.00		60.00	80.00
7年3月期		30.00			
7年3月期(予想)				60.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和7年3月期の連結業績予想(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	0.4	2,150	1.2	2,150	0.3	1,350	11.5	499.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	7年3月期3Q	2,703,200 株	6年3月期	2,703,200 株
期末自己株式数	7年3月期3Q	269 株	6年3月期	152 株
期中平均株式数(四半期累計)	7年3月期3Q	2,702,984 株	6年3月期3Q	2,703,078 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や円安に伴う物価上昇が一層顕著となり、消費マインドの低下など経済の先行きに不透明感が見られました。一方で、雇用・所得環境の安定や円安を背景としたインバウンド需要の回復が進みました。また、企業のIT設備投資は製造業を中心に幅広い分野で高水準を維持し、引き続き好調に推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、店舗、法人部門、通販・卸部門の多販路販売を状況に応じて柔軟に調整し、堅調な法人需要に対応するためリスク分散を図りつつ、生産・技術部門の強化を含む計画的な設備投資を推進しました。その結果、顧客基盤の拡大と利益創出を進めることができました。

パソコン専門店「アプライド」26店舗では、個人向けにデジタルシフトを支援するサービスを展開するとともに、法人向けビジネスセミナーを開催し、デジタル技術の重要性やデータ管理の必要性を喚起しました。これにより、急速に変化する市場環境における課題解決を支援しました。

大学・官公庁向け販売を主体とするSI営業では、各研究分野に特化したHPC（ハイパフォーマンスコンピューティング）の製造技術を活かし、ソリューション提案型の営業を推進しました。

BtoB販売を中心とする特機営業では、法人向けITセミナーの開催やオンライン営業システムの活用を通じ、各種IT機器の販売に加え、外観検査などのAIソリューションとハードウェアを組み合わせたパッケージ販売を強化し、売上および顧客基盤の拡大を図りました。

化粧品・雑貨専門店「ハウス」では、独自開発商品の展開と、季節ごとのイベント実施を軸に、顧客の増加に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は333億39百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益は16億51百万円（前年同期比21.6%増）、経常利益は16億66百万円（前年同期比21.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億19百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

なお、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、第3四半期連結累計期間としてそれぞれ過去最高益を達成いたしました。

セグメントごとの売上高は次のとおりです。

- ① パソコン・ゲーム事業は、「AIの日常化に挑戦する会社」直販型メーカーを目指し、Windows10サポート終了を控え更新需要が増加基調にあるなか、オンラインセミナー・ビジネスフェア開催、学会・学内・企業内展示会参加等により新規法人顧客の獲得を進め、高性能&高品質オリジナルPCと独自サービスを組み合わせたソリューション営業を推進することで、売上高は238億52百万円（前年同期比7.3%増）となりました。
- ② 化粧品・雑貨事業は、「ささやかな、幸せ感の創出」小さな感動が溢れる雑貨店を目指し、落花生・さつまいも・里芋収穫体験、産地直送とれたてサラダビュッフェ提供等、アプライドグループ自社農園「ひーな農園」を活用した販促・サービスを展開し、各種プレゼントキャンペーン開催等により他社との差別化を進め、加えて、卸売販売が堅調に推移したことから、売上高は92億44百万円（前年同期比14.4%増）となりました。
- ③ 出版・広告事業は、「県内ダントツの情報発信基地」を目指し、月刊タウン情報誌「シティ情報ふくおか」・別冊「美味本」発刊、Instagram・X・YouTube・TikTokなど各種SNS運用代行、「ふくおかの魚フェア」・「ふくおかジビエフェア」等の行政・地方自治体とのプロモーション企画・発信による地域活性化推進事業など、幅広く事業を展開し、売上高は2億69百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ9億20百万円増加し、189億91百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4億63百万円増加し、棚卸資産が13億9百万円増加し、受取手形及び売掛金が9億97百万円減少したためです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ36百万円増加し、76億91百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3億96百万円増加し、未払法人税等が3億20百万円減少したためです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ8億84百万円増加し、113億円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益11億19百万円等により利益剰余金が8億76百万円増加したためです。

この結果、自己資本比率は、58.9%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年5月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,769	4,232
受取手形及び売掛金	7,588	6,591
棚卸資産	1,011	2,321
その他	91	366
貸倒引当金	△83	△77
流動資産合計	12,377	13,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,981	2,018
土地	2,384	2,384
建設仮勘定	1	10
その他（純額）	156	135
有形固定資産合計	4,523	4,549
無形固定資産	16	15
投資その他の資産		
敷金及び保証金	558	545
その他	593	446
投資その他の資産合計	1,152	991
固定資産合計	5,693	5,557
資産合計	18,070	18,991

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,185	3,581
1年内返済予定の長期借入金	254	117
未払法人税等	452	132
契約負債	2,009	2,331
賞与引当金	189	98
その他	746	690
流動負債合計	6,837	6,951
固定負債		
長期借入金	398	321
長期未払金	411	411
その他	7	6
固定負債合計	816	739
負債合計	7,654	7,691
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	909	909
利益剰余金	9,025	9,902
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,316	11,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	1
その他の包括利益累計額合計	0	1
非支配株主持分	99	106
純資産合計	10,416	11,300
負債純資産合計	18,070	18,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
売上高	30,546	33,339
売上原価	23,675	26,193
売上総利益	6,871	7,146
販売費及び一般管理費	5,513	5,495
営業利益	1,357	1,651
営業外収益		
受取利息	0	0
受取手数料	3	3
受取賃貸料	11	9
協賛金収入	2	1
その他	4	3
営業外収益合計	22	19
営業外費用		
支払利息	3	2
為替差損	3	0
その他	1	0
営業外費用合計	9	3
経常利益	1,371	1,666
税金等調整前四半期純利益	1,371	1,666
法人税、住民税及び事業税	268	393
法人税等調整額	168	145
法人税等合計	436	539
四半期純利益	934	1,127
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	927	1,119

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
四半期純利益	934	1,127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	935	1,127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	927	1,120
非支配株主に係る四半期包括利益	7	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	合計 (注)2
	パソコン・ ゲーム事業	化粧品・ 雑貨事業	出版・ 広告事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,224	8,081	239	30,546	-	30,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	-	8	9	△9	-
計	22,225	8,081	248	30,556	△9	30,546
セグメント利益又は損失(△)	1,222	△31	39	1,230	127	1,357

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去127百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	合計 (注)2
	パソコン・ ゲーム事業	化粧品・ 雑貨事業	出版・ 広告事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,847	9,244	247	33,339	-	33,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	0	21	26	△26	-
計	23,852	9,244	269	33,365	△26	33,339
セグメント利益又は損失(△)	1,497	△11	36	1,522	128	1,651

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去128百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
減価償却費	144百万円	135百万円